



〒108-0071  
港区白金台 3-7-1  
( 3443 )  
5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

晩秋の園庭



### 落ち葉の出来事から

園長 新井 智子

晩秋の園庭で、4歳児が、落ち葉の風に舞う様子をじっと見つめていました。そして、風に渦巻く砂煙を見てぼつりと「風は透明なんだ」とつぶやきました。落ち葉や砂の動きから風が存在に気が付き、吹く風の色は「透明」と定義したのです。

違う日、親子で落ち葉掃きをしました。始めるときに「昨日の雨で落ち葉が掃きにくいですね」と保護者に声をかけたところ、「いいえ、かえって砂埃がたたずよかったです」と返してくださいました。

今、年長5歳児は、「わくわく発表会」に向けて取り組んでいます。劇は題材から話し合い、子どもたちが決めました。物語の内容や表現など、シナリオなどなく、すべて子どもたちが考え、教師の援助を受けながらつくっています。オリジナルの役柄や場面もあり、せりふや動きをどうしていくか、役決め、大道具づくり、裏方の仕事など、友達同士話し合い、必要な作業をし、協力して劇を進めています。また、今年は3年ぶりに同日に歌と合奏も披露します。

年長児ならではの劇や音楽の表現遊びは、10月に行った「わくわく3デイズ」のスポーツの要素が強い運動会とは趣が異なり、子どもたち個々の違う面の持ち味が発揮され、成長がみられる取組です。文化・芸術的な側面をもつ行事では、言葉や動きで役になりきって表現することが好きな子、音楽を奏でたり歌ったりすることが好きな子は存分に楽しむでしょう。表現することが苦手な子や恥ずかしい子にとっては、乗り越えるきっかけとし、楽しさを存分に味わって取組後の自信になるようにしていきます。

冒頭の落ち葉に関する出来事で、落ち葉ではなく風が存在に目を向けたり、ポジティブにとらえたりと、違う側面を見たり気付いたりすることのよさがあります。様々な行事で見せる子どもたちの姿もまた一様ではありません。いろいろな姿を発見し、ポジティブな見方をさせていただくことを希望し、「わくわく発表会」では子どもたちの創意や表現が伸びやかに披露されることを願っています。

### <12月の指導のねらい>

#### 3歳児

- 自分の思いを言葉や動きで表しながら、友達と同じ場で関わったり遊んだりすることを楽しむ。
- 学級の友達と簡単なルールのある遊びの中で、友達と触れ合い、伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。
- 衣服の調節や上着の着脱など、冬の生活に必要なことを知り、できることを自分でやってみようとする。

#### 4歳児

- 自分の思いを伝えたり、相手の言葉や動きを受け止めたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分なりのイメージやめあてに向かって遊びに取り組み、繰り返し試したり工夫したりする。
- 自分たちの生活に必要なことに気が付き、友達と一緒に取り組む。

#### 5歳児

- 共通の目的に向かって自分の力を十分に発揮し、友達と協力して活動を進め、やり遂げた達成感や一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりのめあてをもち、繰り返し挑戦したり、粘り強く取り組んだりする。
- もちつきや大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする。

